

怪火事件

音 連 官 副 長 家
22

佐作命 茅十一號
 茅二大隊命令
 一 本部半島西岸ニ連日信號ト認ムハキ
 怪火揚ル
 二 大隊ハ二月三日宇作命 茅三十一號ニ基キ之
 カ 搜索ヲ実施セントス
 三 茅四 茅六 茅ニ機関銃中隊長ハ左記ノ通
 リ本日ヨリ当分ノ間午候ヲ出シ怪火ノ
 搜索ヲ実施スヘシ

左記
 一 茅四中隊 塩川附近 夜間概不到
 二 茅六中隊 健聖附近 右同
 三 茅三機関銃中隊 崎本部附近 右同
 又 將校(下士官)午候長以下各三名ヲ差出スヘシ

怪火揚ル
 一 本部半島西岸ニ連日信號ト認ムハキ
 二 大隊ハ二月三日宇作命 茅三十一號ニ基キ之
 カ 搜索ヲ実施セントス
 三 茅四 茅六 茅ニ機関銃中隊長ハ左記ノ通
 リ本日ヨリ当分ノ間午候ヲ出シ怪火ノ
 搜索ヲ実施スヘシ

左記
 一 茅四中隊 塩川附近 夜間概不到
 二 茅六中隊 健聖附近 右同
 三 茅三機関銃中隊 崎本部附近 右同
 又 將校(下士官)午候長以下各三名ヲ差出スヘシ

一 諸君(上)の...
 二 本隊...
 三 本隊...
 四 本隊...
 五 本隊...
 六 本隊...
 七 本隊...
 八 本隊...
 九 本隊...
 十 本隊...

四 細部... 直接中隊長... 指示...
 五 余、真部山、茅二大隊本部... 佐藤少佐
 茅二大隊長
 下達 口達筆記
 下達 指揮下一般
 報告 茅二歩兵隊
 通報 曉部隊 井川部隊
 副隊 清水隊 平山隊

陣地 屋比久²³⁷高地 黒山嶽 船窪台
六余六観測手一ヲ伴ヒ本五日先行シテ伊江島ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 指揮小隊長ニ口達
報告(通報先) 2i I/2i II/2i 50ab

四遊作命第十五陸

第四遊撃隊命令

一月廿一日。八。八。
安富祖

部隊ハ字作命第二十八號ニ基キ二月一日。八。八。
残余待命者ノ警備召集ヲ實施セントト又
各隊ハ所要ノ人員ヲ召集地域町村ニ派遺シ
召集者ヲ集合セシメタル後速ニ安富祖本部
位置ニ集結セシムヘシ
三余ハ安富祖本部ニ在リ

第四遊撃隊長 岩波大尉

第三中隊

兵八一

五各隊ハ九ノ如ク兵力ヲ差出シ前任者ト交替
服務セシムハシ
細部ニ関シテハ別ニ指示ス

名護糧秣監視哨

第一中隊 分隊長以下五

嘉手納

第三中隊 分隊長以下五

六余ハ安富祖本部ニ在リ

第四遊撃隊長

岩波大尉

下達法 要旨口達後印刷交付
報告通報先) 國原支隊本部

龍作命第一六號

第一護郷隊命令

二松一三
谷父岳

二月十日谷父岳遊撃基地構築ニ着手定リ

第一護郷隊基地構築ニ引続キ 自二月十日 至三月十日 間各地密據点ヲ

構築セントス

三久志岳作業隊

長 竹中少尉 (第四中隊(三ヶ分) 第一中隊(吉) 欠) 三久志岳前進基

地及密據点ヲ構築スルニ

四谷父岳作業隊



長 菅江少尉 (與二中队分及) (山谷又岳) 為總指揮

約三十中队分) (完成スル) 但シ長納原據点、其基地の編成

ヲナス

五名護岳作業隊

長 油井小尉 (第一中队第二小队) (旧岩波隊陣地)

繼承擴張シ中繼基地の據点ヲ構築スル

六其地作業隊

長 首藤中尉 (本部及各隊配置兵力) (各作業隊

連絡ニ在リテ六基地施設倉庫ヲ構築シ遂次前進スル

集積草糧品ヲ收納保護ヲ實施スル

山谷又岳

七各作業給養ノ元記ニ依ル

主 食 現品交付

副 食 現地調製

八今次作業ハ徹底的秘匿ヲ要スルヲ以テ自衛防謀ニ徹シ

更ニ積極防謀措置ヲ講ル

九細部間ニハ現地ニ於テ指示スルモ各作業隊ハ創意工夫

ヲ積ニ漸新奇技ヲ據点ヲ編成スル

十予山谷又岳基地ニ在リ遂次各作業隊ヲ監視ス